

もっと知りたい、健康のこと。

日赤News

静岡赤十字病院広報誌

2026年・夏号

vol.379

|季|刊|発|行|

しずおかクロス NAVI

「静岡市認知症疾患医療センター」
を開設

information

第8回 市民公開講座開催のご案内

しずおかクロス NAVI

ANAグループより
「すずらんのしおり」を患者さんのもとへ

総合案内

【特集】

あきらめなくても大丈夫、

知っておきたい

ケロイドの基礎知識

診療報酬改定に伴うお知らせ

写真は当院で働くスタッフが毎号出ます。

今号のテーマ: ケロイド

あきらめなくても大丈夫、

知っておきたい ケロイドの基礎知識

手術やケガ、帯状疱疹、帝王切開など
ありとあらゆる傷口において発症する可能性がある「ケロイド」。
一度発症すると自然に治ることはありませんが
適切な治療を続けることで確実に改善できます。

教えて
ドクター
Q & A

形成外科

福井 剛志 副部長

丁寧な説明が信頼を集める福井先生。
趣味は旅行で「行ったことがない場所を
訪ねるのが好きなんです」。観光以外にも
地元のローカルな動物園を訪ねるなど、
ちょっと意外な一面も。

Q ケロイドを発症しやすい人や、
ケロイドができやすい部位について教えてください。

A ケロイドの発症には個人の体質が強く関係し、家族にケロイド発症の経験者がいる場合は注意が必要です。できやすいのは「前胸部」「肩から背中の上部」「肘」「膝」「下腹部」など、皮膚に強い「引っ張る力」がかかる部位です。また「引っ張る力」が加わらない唯一の例外として挙げられるのが「耳」。ピアス穴の化膿や金属アレルギーによる慢性的な炎症にケロイド体質が重なると重症化しやすく、大きく膨らむことがあります。

Q 日常生活の中でケガをしてしまった時、きれいに
治すにはどのようなことを気をつけたらよいでしょう。

A とにかくしっかり洗うことです。受傷直後に汚れや異物を除去するのはもちろんですが、受診後も毎日自宅の水道水と石鹸で洗って清潔に保てば、薬の成分もしっかり行き届き早く治ります。なお、湿潤療法をうたった市販の貼り薬は正しく使えば優れた効果を発揮しますが、汚れや細菌が残った状態で密閉すると、傷口で菌が急激に増殖して入院が必要になるほど重症化する危険があります。素人目で判断せず、まずは一度よく洗った上で皮膚科などの専門医に診てもらい、使用してよいか確認すると安心です。



意外と知らない「ケロイド」 普通の傷跡とどう違う？

ケロイドとは、皮膚の真皮で過剰な炎症が続いて生じる疾患のことです。

手術やケガなどでできた傷は、治癒の過程において一時的な炎症反応として赤みや腫れ、かゆみが起こります。通常、こうした炎症は時間とともにおさまり、徐々に平らで白い傷跡に変わっていくのですが、中には炎症が治らず、慢性的に残り続けることがあります。皮膚の下で傷を治そうとする免疫細胞が過剰に働き、コラーゲンが作られ続けることで皮膚が大きく盛り上がり、やがてその膨らみはもとの傷の範囲を超えて広がり、時には強い痛みやかゆみを引き起こします。こうした状態がケロイドです。

薬による保存的治療が基本、 重い症状には注射が有効

治療は、体に負担の少ない保存的治療が優先されます。まず抗アレルギー薬などの内服薬で不快な痛みやかゆみを抑え、同時にステロイドを用いた外用薬や貼付薬を投与して直接炎症を抑えていきます。効果が出るには数ヶ月から半年、あるいはそれ以上の期間が必要ですが、続けることで確実な効果が期待できます。

また、範囲が広い場合や症状がひ

どい場合に選択されるのがステロイドの局所注射です。成分をケロイドの組織内に直接打ち込むため高い効果が期待できますが、注射の際に強い痛みを伴うこと、また打ちすぎると生理不順など内分泌系の副作用が出る恐れがあることから、患者さんの意向を聞きながら決めていきます。

そのほか補助的な方法として、患部をシリコンシートで覆って固定・圧迫する圧迫療法もありますが、現在はステロイド貼付薬の進化もあり、剥がれやすさや見た目の煩わしさからメインで行われることは少なくなっています。

手術治療では特殊な縫合で ケロイドの再発を抑制

ケロイドが大きすぎたり目立つ場所にあつて日常生活に支障をきたしている場合や、保存的治療で十分な改善が見られない場合には、手術による治療が検討されます。

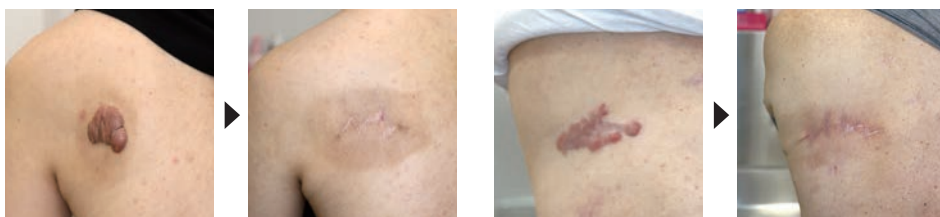
ケロイドの場合、ただ単に患部を切除して縫い合わせるだけでは、手術痕自体が新しい傷となつてケロイドが再発するリスクがあります。ケロイドの手術では、患部をきれいに切除・摘出したのち、切除した新しい傷から再発を起こさせないための特殊な縫合法を行い、さらに再発率を極力下げるために、数日以内に放射線照射治療を行います。そして術

後もしばらくの間は皮膚を引っ張る力から守るための専用固定テープを貼り、予防を実践し続けながら定期的に通院を続け、慎重に経過を観察していきます。

ケロイドは自然に治ることはありませんが、適切な治療を行うことで、確実に改善できます。お悩みの方は一人で抱え込まず、まずは形成外科へ気軽にご相談ください。

図 当院で治療を受けた患者さんの例

それぞれ左の写真が治療前、右の写真が手術と薬物治療をうけて症状が落ちついた状態。大きなケロイドもここまで目立たなくすることができる。



INFORMATION

診療報酬改定に伴う お知らせ

2026年6月1日より、国が定める医療費の計算ルールである「診療報酬」が改定されました。そのため、同じ診療内容であっても、患者さんの窓口でのお支払額（一部負担金）がこれまでと変更になる場合がございます。当院では、今後も地域の皆様に安心・安全で質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

表紙を飾った静岡赤十字病院スタッフ

患者支援課 左より
水野可奈子さん、牧野あゆみさん
大石としみさん、清水ちえ子さん
河本裕美子さん

「こんにちは」「何かお困りですか？」1号館玄関や総合案内にて、明るい笑顔で皆さんを迎えている彼女たちは、例えるなら“静岡日赤のコンシェルジュ”。初めて来院された方も安心してスムーズに受診できるよう、おもてなしの心で寄り添います。



暮らしに役立つ情報をおとどけ

しずおかクロス

NAVI



主な業務内容

- ・認知症疾患の鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ・認知症の行動・心理症状、身体合併症への急性期対応
- ・専門医療相談
- ・地域連携拠点機能体制の構築
- ・情報発信

認知症の方とご家族をサポート

「静岡市認知症疾患医療センター」を開設

当院は2026年4月1日付にて静岡市より「静岡市認知症疾患医療センター」の指定を受け、同センターを開設いたしました。

「認知症疾患医療センター」とは、認知症の方やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して生活していくための支援のひとつとして設置するものです。本人、家族、関係機関からの相談に対応するとともに、状況により適切な医療機関などを紹介。また認知症疾患に関する鑑別診断や急性期治療などの診療の提供、地域連携の推進や情報発信などを行なっていきます。

認知症に対する研究や薬剤開発は急速に進みつつありますが、いまだ根本的な治療

法が整備されているわけではありません。高齢者の単身世帯や老老世帯の増加といった社会的背景の中、認知症はご本人はもちろん、ご家族にとっても大きな健康課題です。当院ではこれまでも、地域にお住まいの認知症の方やご家族のお力に少しでもなれるよう、正確な診断、専門的な薬物治療、生活指導、ご家族への支援、診療所や行政との連携に注力してまいりました。今後も皆様のお役に立てるよう、よりいっそう励んでまいります。

認知症に関する悩みや心配ごとがありましたら、どんなことでも気軽に相談ください。相談は無料です。

利用方法

●一般の方向けの専門医療相談

認知症関連の問題に関する相談は以下お電話にて受け付けます。

受付時間：月～金曜 9:00～16:00 ※祝日・6/11創立記念日・年末年始除く

電話番号：054-254-4311(代表) 静岡市認知症疾患医療センター担当

※近日中に専用電話を開設予定

●かかりつけ医の先生方へ

認知症の鑑別診断、身体合併症や周辺症状への対応、専門医療相談などを行っています。

使いやすいセンターを目指しておりますので、必要な際は、当院地域医療連携課にてお申し込みください。

INFORMATION インフォメーション

市民のみなさんと一緒にクロス!

第8回 市民公開講座開催のご案内

毎回好評をいただいている市民公開講座。

今回は「がん支持療法」「子宮頸がん」をテーマに、当院医師がわかりやすく解説します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

テーマ1 がん支持療法

がん運動が効く?
～知っておきたい最新の
支持療法について～

がん支持療法・
緩和ケア科医師
安達 光生



テーマ2 子宮頸がん

「未来は、予防できる。」
～子宮頸がんを、「自分には関係ない」
で終わらせない～

副院長
兼 産婦人科部長
市川 義一



日時：2026年 8月6日(木) 15:00～16:30 参加費：無料

会場：札の辻クロスホール

静岡市葵区呉服町1-30 札の辻クロス6階(伊勢丹向かえ)

お問い合わせ：054-254-4311(代表) 総務企画課 市民公開講座担当

メールまたは電話による事前申し込みが必要です

- メールの場合 件名を「市民公開講座参加申込希望」とし、①氏名 ②住所 ③電話番号 ④テーマに対する質問(あれば)を明記の上、kikaku@shizuoka-med.jrc.or.jp宛に送信して下さい。

- 電話の場合 054-254-4311(代表) 総務企画課にお電話いただき、「市民公開講座参加希望」とお伝えください。



ANAグループより

「すずらんのしおり」を
患者さんのもとへ



5月26日、ANAグループより当院の入院患者さんにすずらんの切り花としおりが贈られました。

富士山静岡空港の開港を機に始まったこの行事も今年で18回目。贈呈式にてしおりを受け取った患者さんからは、爽やかな香りに笑顔がこぼれました。いただいた切り花は総合受付に飾られ、しおりは患者さん一人一人の手元に届けられています。また当日は、本行事にちなんだ病院食としてオリジナルの「ひこうきゼリー」を提供しました。すずらんの花言葉は「再び幸せが訪れる」。清楚な花の香りが、皆さんの回復への励みになりますように。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

静岡赤十字病院

〒420-0853 静岡市葵区追手町8-2 TEL.054-254-4311

<https://www.shizuoka-med.jrc.or.jp>

静岡赤十字

検索